

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和7年度 第3回 相模台地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		南区役所 相模台まちづくりセンター 電話 042-744-3148 (直通)		
開催日時		令和7年10月22日(水) 午後3時～午後5時10分		
開催場所		相模台公民館 2階 大会議室		
出席者	委員	21人 (別紙のとおり)		
	その他	5人 (廃棄物政策課2名、資源循環推進課1名、清掃施設課2名)		
	事務局	2人		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会あいさつ 2 会長あいさつ 3 市廃棄物政策課から事業説明 相模原市のごみの現状と課題について 4 議 題 (1) 地域活性化事業交付金の見直しについて (2) まちづくり懇談会について (3) 各団体の取組や課題について 5 その他 6 閉会あいさつ		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、◎市、●は事務局等の発言)

1 開会

長澤副会長のあいさつにより開会した。

2 会長あいさつ

相模台地区まちづくり会議 篠塚会長

3 市廃棄物政策課から事業説明

相模原市のごみの現状と課題について

廃棄物政策課より相模原市のごみの現状と課題について、説明があった。

○倉島委員（有識者）

家庭ごみの75%が水分であると聞いたことがあるが、生ごみを絞るといのは抵抗のある方が多いと思う。ゴミ乾燥機が各家庭にあると減量化につながると考える。また、他市では最終処分場を広大な公園に整備するなど行っているが、相模原市ではそのような検討を行っているのか。

◎資源循環推進課

生ごみ処理容器について、助成事業を行っている。来年度も予算確保し、より多くの方に助成できるようにしていきたい。

◎清掃施設課

候補地周辺の地区自治会連合会会長と町田市や八王子市の跡地を公園にした箇所については視察に行っている。跡地利用については、地域の皆さんとどういう風にしていくか話し合っていきたい。

○原田委員（麻溝台中学校PTA）

関連はないものと思うが、市民プールのレジオネラ菌について、発表された情報から進展はあるのか。

◎清掃施設課

本日来ている所属では、把握していない。

○渡邊委員（相模台地区自治会連合会）

リチウムイオン電池の回収方法の見直しとあるが、リチウムイオン電池については、一般ごみに混ざることによって火災等の危険性がある。収集日を定め収集を行うことが良いかと考えるが、どのような検討しており、どのような考え方で取組んでいくのか。

◎資源循環推進課

検討している段階であるが、間違いなく別のゴミに混在しない形、収集日を定め

収集を行うことを収集運搬事業者や処理事業者と検討を行っている。早急に処理方法を定め、お知らせができるようにしたいと検討を進めているところである。

4 議 題

(1) 地域活性化事業交付金の見直しについて

事務局より、令和8年度からの地域活性化事業交付金見直しの概要について説明した。

○篠塚会長（相模台地区自治会連合会）

地域活性化事業交付金を過去に3年間受けた事業を、改めて行うということは可能なのか。

◎事務局

確認して次回回答させていただく。

○渡邊委員（相模台地区自治会連合会）

これまでの活用事例について確認したい。

◎事務局

中央区の活用事例については、8月のまちづくり会議の資料としたものとなる。相模台地区では、昨年度は、ふらっと相模台連絡会が「体力測定事業」を行っており、その前には、ふらっと相模台連絡会が「てくてくお散歩ラリー」を行っていた。

(2) まちづくり懇談会について

今年度のまちづくり懇談会の開催日時等について説明するとともに、テーマに決定した「独居等の高齢者へのサポートについて」「外国人住民との地域づくりについて」に関して、テーマ提出者からそれぞれ説明が行われた。その後、各団体の現状や取組について、各委員がグループに分かれ討議し、討議内容を発表した。

○戸部副会長（相模台地区民生委員児童委員協議会）

このグループでは、「独居等の高齢者へのサポートについて」の討議を行った。民生委員は初めの安否確認までは良いが、金銭管理や緊急連絡先は仕事の範囲外になるので、そこまでは踏み込むことはできないと改めて話し合った。その先は地域包括支援センターに繋ぐしかないが、ケースによってはアパートの保証人欄に地域包括支援センターの職員個人で書かなくてはならないこともあるというのは、不安定で良いことではないため、行政がフォローできる体制になると良いのではないかと考えた。金銭管理の場合は、その方の身の振り方が決まるまでの間、弁護士が相談に乗ってくれる体制などが作れると良い。また、こういったケースを対応していくに当たり、市への提案として「すぐやる課」のような、短期間であっても1つのことが決まるまでの支援を市で行ってもらえる体制が構築できると良いという意見があった。

○中村副会長（相模台地区社会福祉協議会）

このグループでは、「独居等の高齢者へのサポートについて」の討議を行った。現在の取組としては、自治会や民生委員による見守り活動しかできていない。地域としてできることとしては、成年後見制度、自立支援制度、エンディングサポート制度について、社会福祉協議会で講習講座を行っている。まだ講習講座を行っていることを知らない人がいると思うので、周知を徹底していくことが大事ではないかと考える。要望のような形になるが、市に対しては、各種制度、特にエンディングサポートになるが、まず、制度を利用するまでに非常に時間がかかるものになっている。2点目に、制度を利用するに当たり基準が高すぎるものになっている。3点目として、料金が高額である。という状況であるため、制度のスピード感、制度基準の緩和、料金の見直しが必要であるという点を伝えたい。

○篠塚会長（相模台地区自治会連合会）

残りの3グループはもう一つの「外国人住民との地域づくりについて」の討議を行った。討議内容について発表してもらいたい。

○原田委員（麻溝台中PTA）

地域の取組状況については、企業の実例として、外国人実習生に対し、1ヵ月程度の期間、日本の生活ルールについて学ぶ時間を設けているという話があった。地域でできることとして、お互いが理解できるルール作りが必要で、そのルールも一方的に伝えるだけでなく、双方で共有することが重要である。また、現場に適したルールブック、例えばインド人の居住者が多いところであれば、インドの言語で、ごみの捨て方や大声は出さないなどを記載したものを作成することが良い。また、ゴミ集積場所にあるプラスチックの案内も多言語化することが良いという意見があった。外国人本人が直接市に相談できる窓口や電話があれば良いという意見があった。

○小関委員（相模台公民館青少年部）

日本のルールを知らないことが課題である。テーマシートの内容では、鶴ヶ丘団地がピックアップされているが、鶴ヶ丘団地はURであるため、まずはURの担当部署と契約の際にルールの説明は行っているのかなど確認、整理をしてからでないとし市へは言えないのではないかと話になった。鶴ヶ丘団地の件以外にも、相模台地区は、国際色豊かな地区となっている。中央区には、国際交流ラウンジがあるが、国際色豊かなこの地区周辺にもあって良いのではないかと意見があった。そこでゴミや生活時間の違いについて、学ぶことができれば良いという意見があった。また、相模原市が出しているゴミ分別アプリがあるが、検索がひらがなのみで使用しづらいため、多言語化した分かりやすいものを作成した方が良いのではないかと考えた。相模台小学校には、米軍住宅から通う児童はいるが、鶴ヶ丘団地からのインド国籍の児童はいないということだったので、情報収集できる機会が狭

まっているものと考えた。

○渡邊委員（相模台地区自治会連合会）

テーマ提出者がグループ内にいたため、詳細を伺ったが、課題としては生活習慣の違いが一番大きいということだった。どのようなことが挙げられるかという、料理の匂いやお祈りの声、廊下に蝋燭を立てる、パーティーでの騒音など。全てに言えるのはルールや日本の習慣を分かっていることが問題点だと考えられる。鶴ヶ丘団地自治会では、お茶会やサリーの着付け教室などを実施し交流を図っているということだった。地域としてできる取組として、配布物の多言語化は必要と考える。先日の地震で帰国する方も多かったと伺ったので、防災訓練などは、多言語化したチラシ等を配布することができれば、関心を持って参加してもらえるのではないかと考えた。これは市の発行するチラシや刊行物についても同様で、最低限英文化したものを用意が必要なのではないかという意見があった。言語の問題について、日本に居住する外国人の方は、何かしらの機会に日本語を学んでいるかと思うが、月に1回などの頻度で、単なる日本語教室でなく、日本のルール、習慣などを交えながら教室を行っていただくということが効果的だと考えるので、そのような取組を市に求められないかという意見があった。また、こどもたちへの教育として、日本の習慣を学んでもらい、それをこどもたちから保護者へ伝えてもらえるのではないかという話も出た。

○篠塚会長（相模台地区自治会連合会）

「外国人住民との地域づくりについて」は、鶴ヶ丘団地自治会に外国籍の居住者が多いということから端を発したものであるが、テーマシートに記載のとおり、インド人のみならず様々な外国籍を持つ人々が住む相模台地区ではとなっている。外国籍の方がこれからも増えていくだろうという中で、市との懇談により様々な情報を知り、相模台地区ではどのように取組んでいけば良いか考える機会になると思うので、テーマシートの記載としては、このままで良いかと考える。

例年1つのテーマで懇談会を行っているが、今回は2つのテーマで行っていきたいと考えている。この後、役員等での検討を行う中で、時間に収まらないことが想定されれば1つのテーマに絞ることも考える。

今日伝えきれない意見等があれば、役員や事務局に伝えてもらえればと思う。

(3) 各団体の取組や課題について

○倉島委員（有識者）

10月19日（日）に桜台小学校で避難所運営訓練を行った。今回は小学校の児童全員にチラシを配布したが、参加者は15名程度だった。11月16日（日）に開催される「さがみだい防災フェス」のチラシも相模台地区内小中学校児童、生徒に配布していることから各PTAの皆様には機会を見て、参加を呼び掛けてもらいたい。

○中村副会長（相模台地区社会福祉協議会）

10月25日（土）午前10時から午後3時で相模台地区福祉まつりを開催する。ぜひ参加してもらいたい。

○長澤副会長（相模台公民館）

9月28日（日）にスポーツフェスタを開催した。当初200人を予定していたが、250人の参加があった。11月1、2日に公民館まつりが開催される。皆さんにも参加いただき、公民館での文化的な活動を見て盛り上げていただければと考えている。

○篠塚会長（相模台地区自治会連合会）

さがみだい防災フェスについては、相模台地区内小中学校全児童、生徒に配布しており、中学生にはボランティア募集も行ったが、希望者はなかった。PTAの皆さんには、お子さんたちにお伝えしていただければと思う。他の団体の皆さんも若い世代、お子さんにもたくさん来てもらいたいと考えているので、周りの方へのお声かけをお願いしたい。

5 その他

事務局から防災ネットワーク協議会の開催日及び次回まちづくり会議の開催日の案内を行った。

6 閉会あいさつ

中村副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

相模台地区まちづくり会議名簿

委員名	役職	所属団体	出欠
篠塚 実希子	会長	相模台地区自治会連合会 会長	出席
柘田 貞明	副会長	相模台地区自治会連合会 副会長	出席
大元 祐子		相模台地区自治会連合会 会計	出席
渡邊 俊男		相模台地区自治会連合会 監事	出席
長澤 敬子	副会長	相模台公民館 館長	出席
戸部 恵美子	副会長	相模台地区民生委員児童委員協議会 会長	出席
中村 明	副会長	相模台地区社会福祉協議会 会長	出席
吉田 保彦		安全・安心まちづくり推進協議会相模台支部交通部会 部会長	出席
遠藤 和宜		安全・安心まちづくり推進協議会相模台支部防犯部会 部会長	欠席
木嶋 敏男		相模台地区老人クラブ連合会 副会長	欠席
古定 謙一		相模台商店街連合会 会長	欠席
草間 やよい		相模台青少年健全育成協議会 会計	出席
小関 晴代		相模台公民館青少年部 部長	出席
藤田 義行		相模台公民館体育部	出席
磯端 勝博		相模台公民館健康づくり委員会 委員長	出席
菊永 亮		相模原市消防団南方面隊第4分団 分団長	欠席
宮下 明子		相模台小学校PTA 副会長	代理出席
福山 博昭		桜台小学校PTA 会長	欠席
水田 直子		双葉小学校PTA 会長	出席
市丸 景子		若草小学校PTA PTA本部 (郊外担当)	代理出席
原田 征士		麻溝台中学校PTA 会長	出席
竹中 詩子		相模台中学校PTA 会長	欠席
本山 香津江		相模台地区交通安全母の会 会長	出席
戸部 陽一郎		相模原市農業協同組合麻溝台支店 運営委員選出代表	欠席
小室 智		相模台地区保護司会 代表	出席
寺田 卓		相模台第1地域包括支援センター センター長	出席
杉山 育子		相模台第2地域包括支援センター センター長	欠席
渡邊 知雅子		公益社団法人 相模原法人会相模台支部 代表	欠席
山本 裕		有識者	出席
倉島 勝治		有識者	出席